

優しい風の吹く街

第30号 2011年 7月発行



ユニットF宝塚

●「いのち」を大切に、支え合う社会をめざして●

東日本大震災から4ヶ月がたちました。しかし、未だに被災地の復旧スピードは遅く、被災された方々の生活再建の道がはっきりと見えない現状です。さらに原発事故も収束に至らず、周辺地域の人々の不安が増大しています。

そのような現状の中、私たちは1日も早い復旧・復興が実現できるように、被災された方々の具体的な生活再建に向けて、被災地としっかりつながり、支援を続けていきます。



●逆瀬川駅前広場での出発式

これからも
笑顔・元気・誠実に...

2011年4月24日に行われた「宝塚市議会議員選挙」で3期目の当選を果たすことができました。一人ひとりのつながりで広がったご支援の心の輪の温かさ強さをしっかり胸に刻み、一生懸命がんばります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

「ユニットF宝塚」

今まで「市民ネット宝塚」として活動する中、私たちを引っ張ってきてくださった小山哲史さんが議員を勇退されました。色々教えていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、この改選により新しい市議会がスタート。井上きよし議員（4期）、寺本早苗議員（3期）、伊福義治議員（2期）、大河内茂太議員（1期）と北野の5名で会派を組むことになりました。

会派名は「ユニットF宝塚」です。



井上・伊福・北野・寺本・大河内各議員

私の2011年度所属委員会です。
しっかり務めます。

- 文教生活常任委員会
- 広報広聴委員会
- 議会改革検討委員会
- 防災に関する調査特別委員会

活動報告～抜粋～

資源ごみの持ち去り行為への対策について

2/10

「宝塚市廃棄物減量等推進審議会」に出席しました。

今回の市長からの諮問内容は、＜資源ごみの持ち去り行為への対策について＞です。条例制定している他都市や、近隣都市の状況、経費の課題等々が出されました。宝塚市ではどうしていくべきか……これから半年間で審議していきます。

第19回『駅前議会』

2/20

宝塚ホテル・すみれの間

テーマ

- ①「中川市長の施政方針」について
- ②あらためて「市民の代表としての議会はどうあるべきだろう」



(旧市民ネット宝塚)

たくさんの方々にご参加いただき、ありがとうございました。また、会の進行や運営にご協力いただいたことも嬉しかったです。みなさまからの貴重なご意見ご要望を、しっかり受けとめしっかり考えて今後の活動にいかしていきます。

宝塚市議会基本条例 制定

3/26

「議会の憲法」というべきもの

議会報告会や理事者側からの反問権も入っています。あわせて「宝塚市議会議員の政治倫理に関する条例」の一部も改正し、資産や税等の納付状況を公開することとしました。

議会改革の意義・意味と、その方向性について

- 地方主権改革が進められるなかで、自治体ごとの主体的判断について議決するという重い責任を議会が背負うこと。
- 市民に対する議会としての説明責任が問われるということ。
- 議会自らの自己変革が求められていること。
- コミュニティ政策で地域内分権が進むなか、議員の役割自体の変化に対応しなければならないこと。

3月議会 予算特別委員会

3/18

朝鮮学校就学補助金カット等の修正案2件がでしたが、否決されました。2011年度予算は、賛成多数で可決しました。

北野の総括質疑 ～抜粋～

- ・公園整備
- ・「イクメン」を増やす取り組み
- ・給食自校炊飯モデル実施の検証
- ・女性や生活保護受給者の就労支援
- ・被災した子どもたちの受け入れについて
- ・朝鮮学校保護者への就学補助事業について

宝塚市民として納税の義務を果たしている保護者と、なによりもそこで学ぶ子どもたちの心を考えて判断すべき。反対議員の主張は、宝塚市子ども条例はもちろん、国内外の人権・民族による差別を禁じた「国連人権規約」、子どもの権利の国際基準である「子どもの権利条約」にも違反する行為です。

2011年度予算執行に関する付帯決議

東日本大震災というかつてない広域の大災害にみまわれた日本社会の状況に鑑みて、事業の緊急性・重要度について精査し、予算の執行に当たっては、予算特別委員会の審査のなかでの指摘事項をふまえ慎重を期するよう求める。以上決議する。

＜最後に私たちから提案した

付帯決議が通りました＞

6月定例市議会

臨時市議会

5/17 正副議長選挙の結果、私は副議長に
当選することができました。がんばります。

●議長: 江原議員 ●副議長: 北野

6/9本会議 大河内議員の質問時に
議長を務めました。



本会議最終日

6/24

■主な議案

●補正予算第1号

暴力団追放推進協議会補助金
乳幼児等医療費助成事業 など
(外来12歳まで3割から2割負担に)

●補正予算第2号

東日本大震災にかかわる避難者支援事業など

●「児童ディサービス事業(あそびっこ広場)」 (8月開始)

●災害対応特殊救急自動車 高度救命処置用資機材の取得

→すべて **可決**

■請願

- 1号→自然エネルギーによるまちづくり
…賛成多数・採択
- 3号→義務教育費国庫負担制度の堅持
…賛成多数・採択

■副市長人事案→同意(継続して山下稔さんに)

■意見書

- 1号 公立学校施設における防災機能の整備
2号 東日本大震災の復興支援
3号 原子力発電所の安全対策の強化
4号 国の原子力防災指針の見直し
5号 福島原発危機の収束と救援・復旧・復興にむけた
緊急対策

6号 豊かな教育を実現するための義務教育費
国庫負担制度の堅持

1～6号まで可決。国の施策推進を求める意見書を
宝塚市議会から提出。

■決議案(議員提出議案)

- 1号 学校給食の米飯自校炊飯事業の凍結に
関する決議 →否決
- 2号 被災者支援にかかる財源確保に向け、不急な
事業の見直しを求める決議 →可決

議会運営委員会 議会基本条例 運用開始!

- ①議員(委員)間の自由討議
②重要な施策の論点情報の形成
③市長等の反問権
④請願審査における市民意見の機会

⑤傍聴者への資料配布

「賛否の公表」と「反問権」
今議会から。

「自由討議」については論点整理の課題を整理中。

活 動 ト ピ ッ ク ス

車椅子レクダンス

この行事を実施するかどうか迷われた・・・と聞きました。でも、それぞれが元気に生きること、手をつなぎあうことが、いまこそ必要です。



3/12

被災者家族に自転車を！！

被災地から兵庫県内への避難者受け入れ状況（6月1日現在）は149世帯・493名となっています。

いま、避難された方々からは、『日用必需品だけでなく、交通手段としての自転車等も必要』との声を聞いています。

民主党兵庫県連では、6月のとりくみとして被災者支援団体を通じて自転車を送りたいと考えています。そのために逆瀬川駅前で募金活動をおこないました。

6/18



宝塚市自治功労者認定を受けました。

これからも宝塚市のためにがんばります。

5/23



～風のココロ～

議会の合意形成

執行権をもつ首長と、チェック機能や議決権をもつ議会がそれぞれの立場で責任を果たす「二元代表制」をとっているのが地方議会です。

議会は十分議論を尽くし合意形成していくことで議会としての力を発揮できますが、議論抜きでの強行採決ばかりが続くと、議会はその機能を失ってしまうのではないかと危惧します。

宝塚市議会では、宝塚市議会基本条例にもとづいて、議会の透明化や市民への説明をしっかり行っていこうと動き始めました。

第20回「駅前議会」のお知らせ

7月31日（日）13：15～

宝塚ホテル ひすいの間

□6月議会報告

□議会改革 など

・参加費500円（コーヒー代として）

お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

◇発行人◇ 北野さと子

◇連絡先◇

〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>